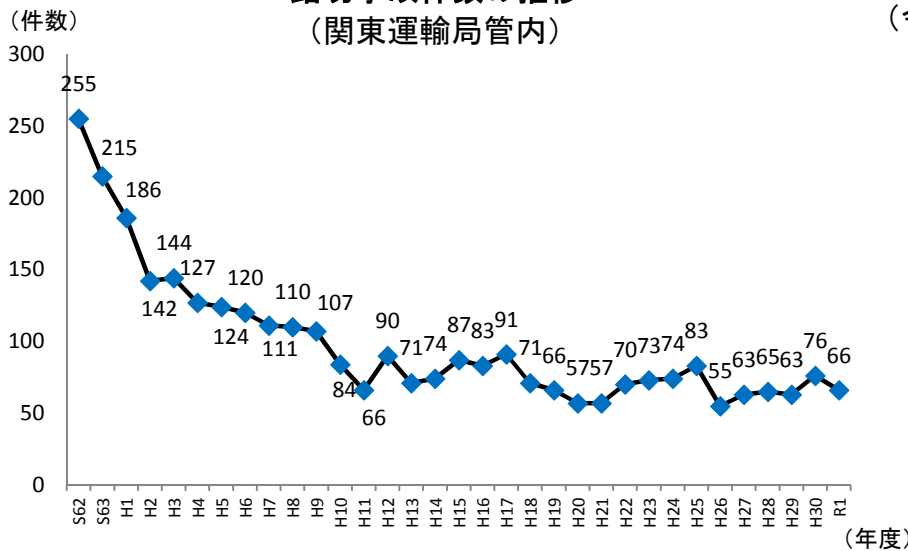


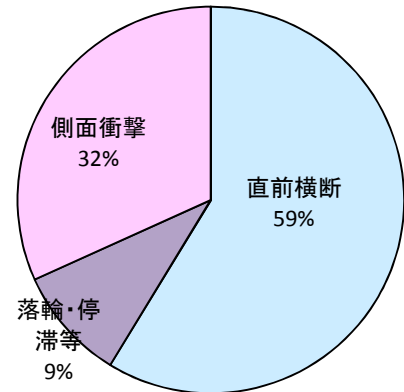
踏切事故防止へのご協力のお願い

踏切事故件数は、踏切の廃止や警報機・遮断機の設置などの安全対策の推進によって長期的には減少傾向にあります。近年はほぼ横ばい傾向で重大な事故も発生しています。また、令和元年度の事故原因については、直前横断、側面衝撃、落輪・停滞等によるものであり、踏切の安全通行が求められています。

踏切事故件数の推移
(関東運輸局管内)



踏切事故の原因
(令和元年度関東運輸局管内)



[事件事例]

JR東海道線の列車脱線事故（自動車通行禁止踏切に進入）

平成25年4月7日午後8時37分頃、神奈川県茅ヶ崎市のJR東海道線茅ヶ崎駅近くの踏切道（遮断機、警報機付き）において、線路上に立ち往生している軽乗用車と列車が衝突し、脱線した。

この踏切は、自動車の通行ができないことになっていたが、軽乗用車が無理に立ち入り脱線した。この事故により、軽乗用車に乗車していた人は避難して全員無事だったが、列車の乗客1名が負傷した。



山陽電鉄の列車脱線事故（踏切の出口スペースが不十分）

平成25年2月12日午後3時48分頃、兵庫県高砂市の山陽電気鉄道の本線荒井駅近くの踏切道（遮断機、警報機付き）において、特急列車と自動車運搬用トラックが衝突し、脱線した列車が駅ホームに衝突した。

自動車運搬用トラックから見た踏切進出先は、交差点となっており、事故当時、交差点と踏切道の間（約12m）に信号待ちの自動車が1台停車していた。

この事故により、列車の運転士と乗客16名、トラックの運転手及び列車と衝突した弾みでトラックと接触したタクシーの運転士の計18名が負傷した。



通行止め等の交通規制がないか踏切手前で確認！
警報機が鳴り始めてからの横断は
やめましょう！！



踏切横断前に行いましょう！

- ・一旦停止
- ・左右の安全、前方スペースを確認

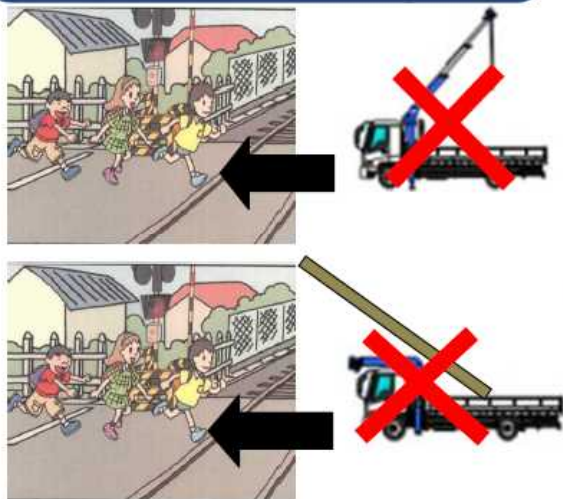
踏切先のスペース
確認しないと…大変なことに!!



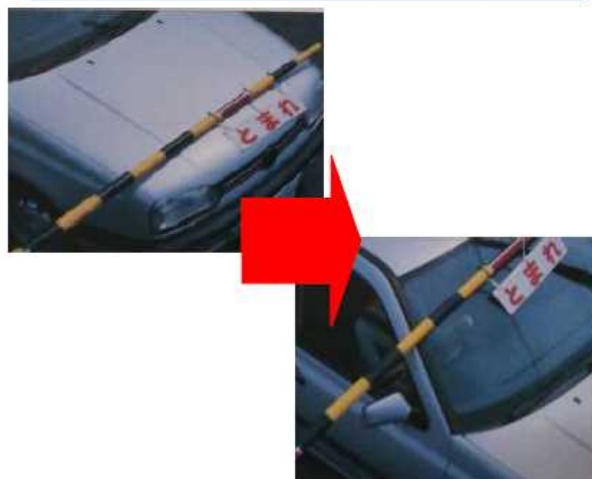
踏切では、一時停止し、安全を
確認してから進みましょう。

※ただし、信号機が設置されている踏切において、信号機の表示する信号に従うときは、一旦停止しないで進行することができます。

クレーンは必ず下げ、積載物は高くないよう
にして通行しましょう！



踏切道内に閉じ込められた場合には、慌てず車でゆっ
くり前進して下さい。
遮断桿は車で押せばはね上がります。



<非常ボタンあり>
踏切内で車が動かなくなった場合は、非常ボタ
ンで列車へ通報して下さい。
<非常ボタンなし>
発煙筒を使用して列車に通報して下さい。



非常ボタンは
緊急時・異常時は、
発煙筒をたいて
左記へお知らせください。
鉄道 運転指令所
フリーダイヤル
0120-
携帯電報からのお知らせです。
この踏切は 踏切です。

冬期は特に
スリップに注意しましょう！

止まれな〜い！
すべる〜！



路面凍結時には早めに速度を落としてゆっ
くり止まりましょう。

国土交通省では、ホームページに『[鉄道の安全利用に関する手引き](#)』を掲載しておりますので、是非
こちらもお覧になって頂き、鉄道の事故防止にご協力をお願いいたします。

ホームページアドレス : https://www.mlit.go.jp/tetudo/tetudo_fr8_000005.html